

久手港 防災・安全交付金事業【防砂堤】

全体事業費
R7当初予算額

981,905千円
60,000千円

【事業概要】

事業進捗率（R6末時点）81.1%

- ・久手港は、島根県のほぼ中央部に位置し、古くは北陸から長門に至る日本海沿岸の寄港地として利用されてきました。現在はすぐ沖に天然の好漁場をひかえ、漁場環境に恵まれていることから沿岸漁業基地として利用されています。
- ・西側の海浜部より漂砂移動による堆砂現象が幾度となく発生し、航路・泊地が埋没し、港内利用に支障をきたしていることから、新たな防砂堤の整備により漂砂移動を抑制し、より安全に船舶が入出港できる環境の整備に取り組んでいます。

【事業箇所】

大田市久手町地先

【事業計画】

- ・防砂堤 L=110m

【R7年度事業内容】

- ・本体工 N=81個
(本体ブロック製作・据付)



【期待される整備効果】

- ・防砂堤を整備することにより、漂砂移動を抑制し航路および泊地への堆砂量が軽減されることが期待されます。